

令和3(2021)年度 事業計画

令和2(2020)年度事業の反省

①新規事業所建設に向けた取組み

「室」としては設置せず、法人本部に職員配置を行い、必要に応じその役割を分担した
令和2年12月23日に国庫補助選定候補の通知があり、直後から実施設計、既存倉庫解体準備を開始した

②各事業所役割の明確化と具現化

管理監督者間での議論・意識合わせにより、役割が明確化され、職員への周知が進んだ
時代に応じて、SNSを活用した啓発を行った

③利用者の安心と安定

作業量確保のため、ウエス事業を開始すると共に、新規2社との請負契約を行い、内働作業の充実を図った
災害時BCPは各事業所毎の作成は終了したが、法人全体分は未作成
外部講師の積極的登用はコロナ感染拡大防止の観点から実施に至らず
衛生用品の備蓄は計画通り実施した

④職員の安心・育成・やりがい

職場環境改善委員会が中心となり、コロナ感染予防チェック、ストレスチェック、標語及び福利厚生アンケート、働き方改革への具体的対応を順次検討し、職員に周知、意見の吸い上げを実施した
階層別視察研修、託児検討は延期した
新規正規職員は採用に至らず

⑤地域連携と協働・貢献

伊賀市の共同受注(マスク作成)の中心的役割を担う
伊賀市社協と特定相談集約のためのトライアルを実施。
メリット・デメリットを伊賀市社協と議論し情報を共有した中で、個人情報保護及び職員の勤怠管理についての課題が明確になった。

令和2(2020)年度経営の課題

◆外部環境の変化

- ・感染症対策による急速なICT化への対応(新しい生活様式への対応)
- ・働き方改革(同一労働同一賃金)の具体的対応
- ・次年度報酬改定への対応
- ・関係機関、団体の他、異業種も含めた連携の推進

◆内部環境の変化

- ・新規事業スタートのため、事業所建設に係る事前準備及び支援プログラムの具体化
- ・就労事業収入の確保と新規作業の導入(コロナ禍による販売事業の大打撃)
- ・利用者の契約解除の増
- ・多様な障害特性への対応

令和3(2021)年度事業運営方針

①新規事業所開設に向けた取組み

施設整備の実施
「自分の人生を主体的に生きる」ための人材育成を目的とした事業所づくりを実現すると共に
既存事業所の役割を明確に分担する

②役員等改選による組織体制の更なる強化

理事・監事・評議員・評議員選任解任委員の改選を契機に、組織体制の強化を行い、法人理念の更なる実現に取り組む

③利用者の安心と安全

利用者一人ひとりの将来を見据え、個別支援計画に基づいた支援を行う
非常時に利用者の安全を確保し、安心な生活環境を提供するための準備を行う

④職員の安心・育成・やりがい

働き方改革を多方面から推進し、職員それぞれの特長や能力を発揮できる職場環境づくりに努める
事業遂行のため必要な職員を計画的に採用し、人材育成を行う

⑤地域連携と貢献

地域の各種団体と積極的に連携、協働する社会貢献活動に努め、社会に役立ち必要とされる法人をめざす

令和3(2021)年度事業収支計画

単位:千円

◆収支計画案(予算)

令和3年度当初資金収支予算(案)

令和2年度資金収支予算(案)
(第3次補正值)

収入412,151千円
事業活動収入391,549 福祉事業 319,207 就労事業 72,342
施設整備等 20,602
その他の活動 0

支出414,693千円
事業活動支出378,056 福祉事業 305,291 就労事業 72,765
施設整備等 20,745
その他の活動 15,892

収支差△2,542千円

収入661,197千円
事業活動収入374,173 福祉事業 308,711 就労事業 65,462
施設整備等 159,002
寄付 14,000

支出765,107千円
事業活動支出361,753 福祉事業 297,011 就労事業 64,742
施設整備等 401,732
その他の活動 1,622

収支差△103,910千円

◆考察

- 1.新規利用契約2名(支援学校卒)
- 2.報酬改定によりA型・B型基本報酬増(施設外就労加算廃止)

事業推進重点施策

<事業運営方針に基づく重点項目>

- ①新規事業所開設に向けた取組み
施設整備のための入札審査会等の設置
支援(教育)プログラムの作成と非常勤講師の確保
- ②役員等改選による更なる組織強化
副理事長の設置
評議員の増員及び評議員選任・解任委員の構成変更
- ③利用者の安心と安全
感染防止策の徹底(BCP・感染マニュアルの更新)
特別プログラム・個別プログラムへの外部講師の積極的活用 予算・・・450千円
業務支援ソフト「福祉見聞録」の有効活用による業務省力化と支援の充実
内部監査の充実
- ④職員の安心・育成・やりがい
ガイドヘルパー養成講座の開催と資格取得支援
働き方改革への更なる対応(同一労働同一賃金対応 準職給与テーブル検討)
福利厚生の充実 予算・・・300千円
ICTを活用した階層別職員研修の充実 予算・・・100千円
SNSを活用した職員採用と在籍職員出身校への訪問 予算・・・100千円
- ⑤地域連携と協働・貢献
特定相談支援事業所の集約に向けた取組み
三重国体における優先発注業務を通じた貢献・伊賀圏域就労部会等を活用した共同受注

<各事業所、部門重点項目>

- ・上野ひまわり作業所
利用者個々のペースに合わせた作業及び活動環境を提供する(高齢化・重度化支援)
利用者個々の状態に合わせた健康管理を実施
- ・ふっくりあハウン
B型・・・ソーシャルスキル向上支援
作業量を確保し、工賃向上に努める
移行・・・訓練内容の精査充実と教材の開発 ・一般就労の実現
定着・・・OB・OG会の開催と同時に、座学等を取り入れ改めて社会人としての基礎を学びなおす機会の提供
- ・ふっくりあアウス
生介・・・個々のニーズと支援目標に則した、運動、作業、特別活動を組合せたプログラムの実施
生訓・・・訓練内容の精査充実と教材の開発
- ・ふっくりあモオンマール
A型・・・継続的に就労できる場の提供と、一般就労に向けたスキル、能力向上の支援
B型・・・製菓製パン部門において、利用者の働きがい・やりがいを高めていける生産活動を行う。
また、安心・安全な商品づくりを目的として、利用者と共に、HACCPの導入と運用に取り組む
- ・びいはいぶ
B型・・・製造部門において、一般就労、A型移行を支援目標にしたスキル、能力向上の支援と同時に、経済的自立を目指した工賃支給に努める
施設外就労「M、I、Eモデル」の啓発と更なる発展
- ・特定相談・・・特定相談支援事業所集約に向けた試行の積み重ねと役割の精査
介護サービス移行支援体制の整理
- ・GH・・・安心・安全な暮らしと住人が「自分の家」と感じられる住空間の提供
多様な障害特性に合わせ、住人それぞれが「自分らしい暮らし」を実感できる支援の提供
- ・事務・・・請求事務の効率化・給与計算のインソーシング・会計月次報告の見直し検討
備品、資産管理の見直し
- ・医療ヘルパー・・・感染防止対策の充実
高齢化や基礎疾患を考慮した健康管理の仕組み強化
- ・給食・・・HACCP導入による衛生管理・利用者の実習・訓練の受け入れ、
給食提供の見直し(カロリー・献立)、食品衛生管理者養成・内部監査の実施

◆全体事業

9/17 第30回ひまわりコンサートと以降の在り方検討	予算1,500千円
保護者会主催ひまわりバザーの共催と以降の在り方検討	実施未定
1/22 新年・成人・還暦のお祝い	予算 350千円
新事業開設記念誌発行(25年史を変更)	予算 500千円

◆投資・修繕事業

ふっくりあ内照明の交換	予算 700千円
GH防災備蓄品	予算 300千円
るーな外階段修繕	予算2,500千円

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



社会福祉法人雑雅幸育会は、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的に福祉事業に取り組めます。そして、SDGsについて様々な角度から考え、SDGsが掲げる「誰も置き去りにしない」世界の実現を目指します。